

“専門職だからこそ知っておきたい” 家庭・地域でできる防災対策

周南市役所
防災危機管理課





本日の内容

- 1 災害の基礎知識
- 2 個人や家族でできる備え
- 3 避難情報と避難所

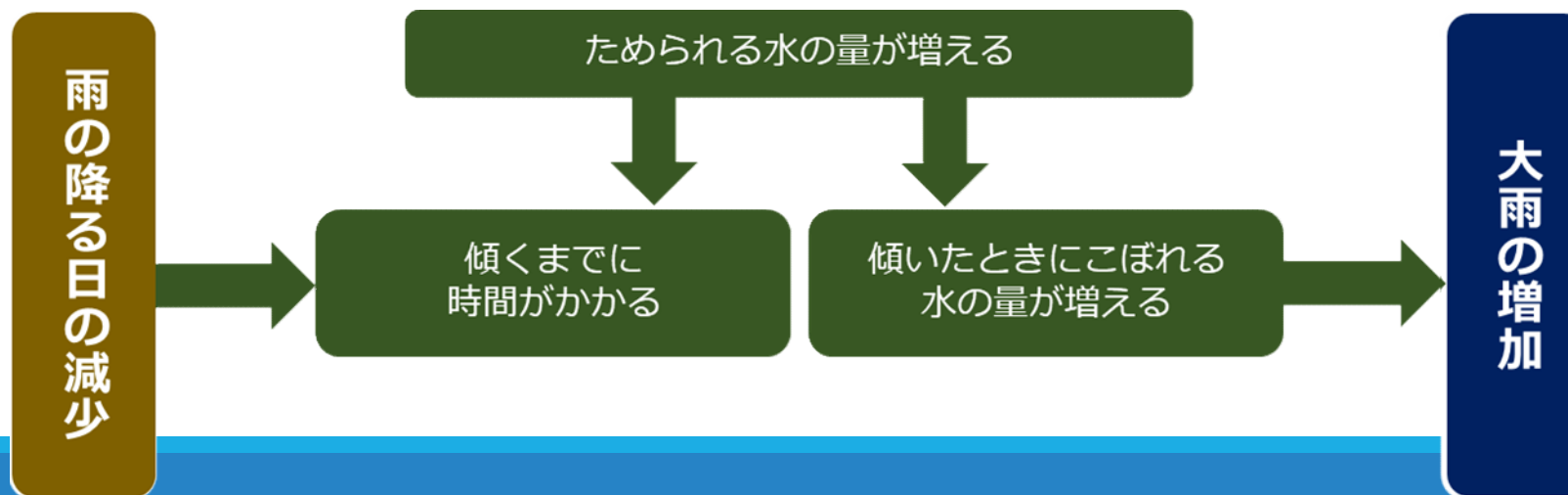
1 災害の基礎知識

近年雨の降り方が激しくなっているといわれるのはなぜ？

気候の変化(温暖化)

- 気温が1℃上がると、空気が含むことのできる最大の水蒸気量（飽和水蒸気量）が約7%増加
- 空気中にためられる水の量が増えるため、雨の降る日が減少する一方、大雨が増加

鹿威しに例えると、竹筒が太くなって、溜まる量が増えて（傾く回数が減る）、傾いたときには大量の水が出てくる。



洪水

洪水とは

洪水とは、大雨などによって河川の増水や氾濫^{はんらん}、または、側溝・排水路などが雨を処理しきれず陸地にあふれたことです。



土砂災害

もし、私たちの家
だったら、...

こわいよ~

ご近所の
お宅が土砂崩れの
被害にあってるよ!

こうして起こる! 土砂災害

梅雨や台風の時期など雨が多くなる時期は注意しましょう。雨量が1時間に20ミリ以上、降りはじめから100ミリ以上になると十分な警戒が必要です。また、地震の後も土砂災害が発生しやすくなります。

●土砂災害の種類

がけ崩れ

雨水がしみ込んで、柔らかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。急に起きるため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い災害です。



土石流

長雨・集中豪雨などで、山腹や渓流の石や土砂が一気に強大な威力と速さで、進行方向にあるものを飲み込みます。



地すべり

豪雨や長雨で、ゆるくなった斜面の一部が、地下水や重力の影響でゆっくりとすべり落ちる現象です。



●前兆現象

前兆現象を少しでも感じた場合は、ただちに避難をしましょう。

- ・崖に亀裂が入る。
- ・崖から小石がパラパラ落ちてくる。
- ・崖からの水がにごる。

- ・山鳴りがする。
- ・急に川の水がにごり、流木が混ざり出す。
- ・腐った土の匂いがする。

- ・斜面から水が噴き出す。
- ・地面にひび割れができる。
- ・樹木や電柱が傾く。

地震

ゴゴゴゴゴ...



地震の揺れと被害想定

震度 0	人は揺れを感じません。 	震度 5弱	家具が動いたり、食器や本が落ちたり、窓ガラスが割れることもあります。 
震度 1	屋内にいる人で揺れを感じる人もいます。 	震度 5強	ダンスなどの重い家具が倒れたり、ブロック塀が崩れることもあります。 
震度 2	屋内にいる人の多くが揺れを感じます。 	震度 6弱	立っていることが難しく、壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなります。 
震度 3	棚の食器が音をたてることがあります。 	震度 6強	這わないと動くことができません。重い家具のほとんどが倒れ、戸が外れます。 
震度 4	寝ていてもほとんどの人が目を覚まします。歩行者も揺れを感じます。 	震度 7	自分の意思で行動できなくなります。大きな地割れ・地すべり・がけ崩れが発生します。 

シェイク
アウト

安全行動の1—2—3



DROP!



COVER!



HOLD ON!

提供 効果的な防災訓練と防災啓発提

家の中の安全対策

家具の転倒や落下を防ぎ、逃げ場になる安全なスペースをつくっておきましょう。

食器棚・戸棚



L字型金具を使って壁などに固定

扉に金具などを使って開閉防止



テレビ

できるだけ低い位置で粘着マットなどで固定

本棚

壁と本棚をベルトで固定



玄関

安全に避難できるように出入口や通路に物を置かないようにしましょう。

家具の配置を工夫する

本棚やダンスが倒れる危険性があるので、家具の高さ以上離れるか、寝室には家具を置かないようにしましょう。



ダンス



- ① 壁などに金具で固定
- ② 上下の家具を金具で固定
- ③ 差し木などをダンスの下に入れて転倒防止

家の周りの安全対策

屋根やベランダ、ブロック塀などの安全対策にも日頃から心がけましょう。

津波^{つなみ}

こんな津波が
来たらと想像する
だけで怖いわ



特徴

- 津波はくり返し襲ってきます。
- 20～30cm 程度の高さでも、波にさらわれる危険があります。
- 引き波の破壊力もすさまじく、陸で引き波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。

南海トラフ巨大地震による 周南市の津波被害想定

(平成26年3月27日山口県地震・
津波防災対策検討委員会)

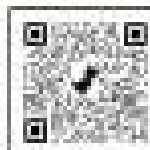
	最高津波水位 (TP*上)	到達時間
徳山下松港	3.5m	143分
福川漁港	3.5m	139分

※ TP…東京湾平均海面

詳しくは
こちら▶



南海トラフの
巨大地震



ハザード
マップ



南海トラフ地震 想定される被害

○周南市における、巨大地震による被害想定

(平成26.3.27 山口県発表)

- ➡ ・人的被害
 - ➡ 死者：49人 負傷者：4人
- ➡ ・建物被害
 - ➡ 全壊棟数：128棟 半壊棟数：2, 286棟
- ➡ ・生活支障
 - ➡ 避難者：18, 120人

ただし

津波からの早期避難や、平時からの耐震・家具転倒防止等の対策をすることにより、死者をゼロにすることは可能。

台風・高潮

たいふう・たかしお



台風の影響で
波が高いなあ

怖いから、早く
帰りましょう

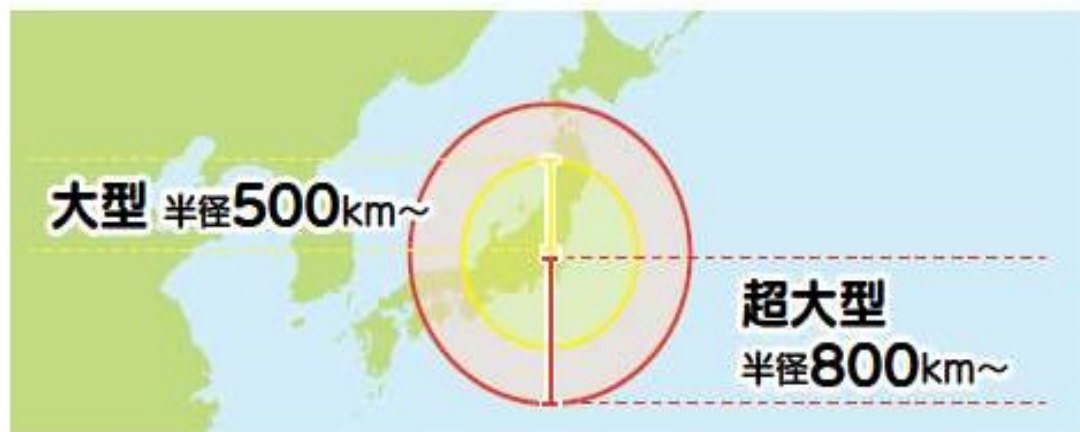
熱帯の海上で発生する低気圧「熱帯低気
圧」のうち、最大風速が約17m/s以上の
ものを台風と言うんだよ

日本への上陸は年間平均3個程
度で、9月～10月ごろが日本に
近づきやすい時期なのよ

単位は平均風速 m/s (秒)

●台風の大きさと強さ

台風の大きさと強さは、強風域（風速15m/s以上）の半径と最大風速を基準に決められています。



●台風発生時の行動

事前の行動

- ・窓や雨戸の戸締りの確認
- ・倒れたり飛ばされたりしやすいものを固定・撤去
- ・懐中電灯の準備
- ・水や食料、非常持ち出し袋の確認
- ・いざというときの避難方法・避難場所を確認して、家族で共有しておく

台風の大きさ	強風域の半径
大型（大きい）	500km 以上800km 未満
超大型（非常に大きい）	800km 以上

台風の強さ	最大風速 単位：m/s
強い	33以上44未満
非常に強い	44以上54未満
猛烈な	54以上

※気象庁「風の強さと吹き方」「雨の強さと降り方」「台風の大きさと強さ」参考

通過中の行動

- ・テレビやラジオ、ネットなどから最新気象情報を入手する
- ・県や市からの情報にも注意しておく
- ・家の周辺や田畑などが心配になっても、外に出ない
- ・避難勧告が出た場合や危ないと感じた時は、早めに避難する。
- ・避難の時は、高潮や浸水、土砂災害の発生しそうな場所を通らないようにする

●高潮発生の仕組み

気圧の低下



台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げるにより、海面が上昇します。

風の吹き寄せ



台風による強い風で海水が海岸に吹き寄せられて、海岸付近の海面が上昇します。

越波



高潮が発生すると、台風による高波が堤防や護岸を越え、浸水のおそれがあります。

2 個人や家族でできる備え

『ハザードマップ』とは？

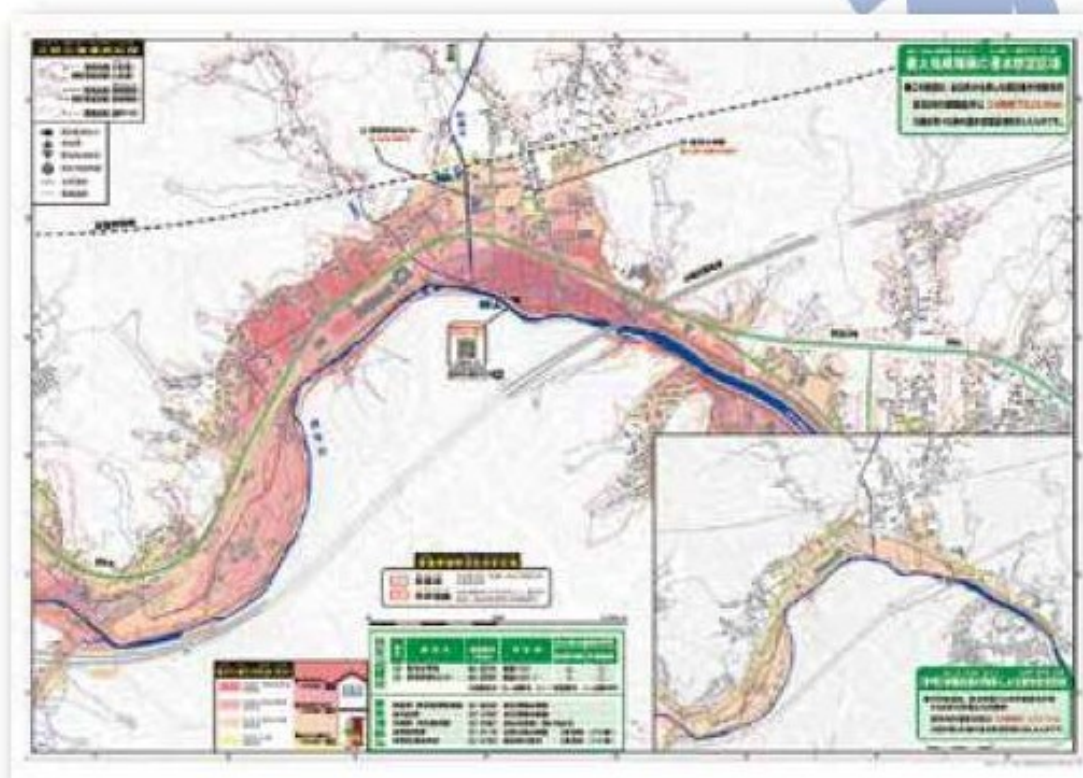


ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、被害の範囲および被害程度、避難場所などの情報を地図上に表したものです。

あらかじめ

- ・ 予想される被害状況の確認！
- ・ 避難場所の確認！
- ・ 避難経路の確認！

をしておきましょう。

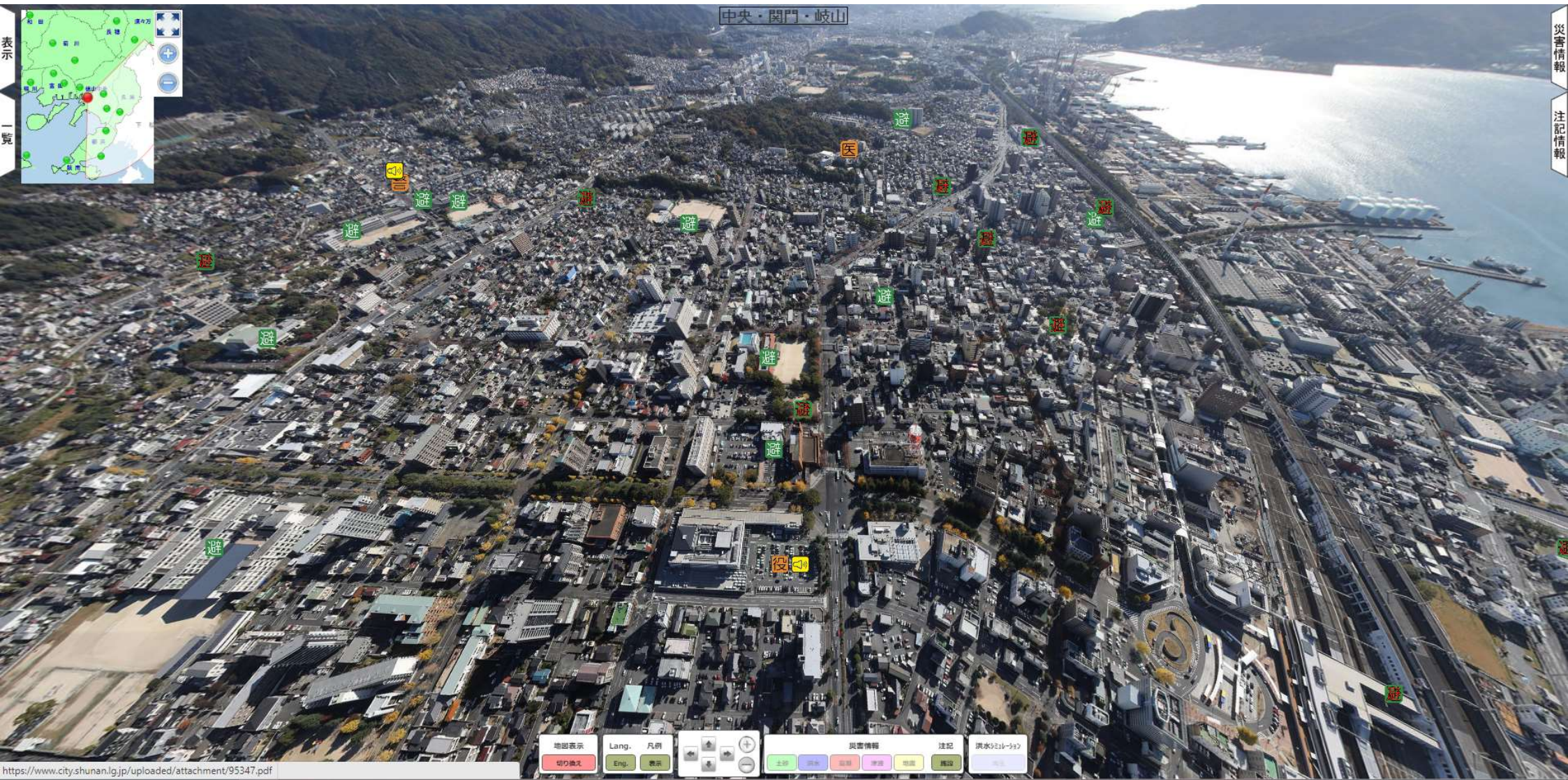


周南市では災害ごとにハザードマップを作成しています

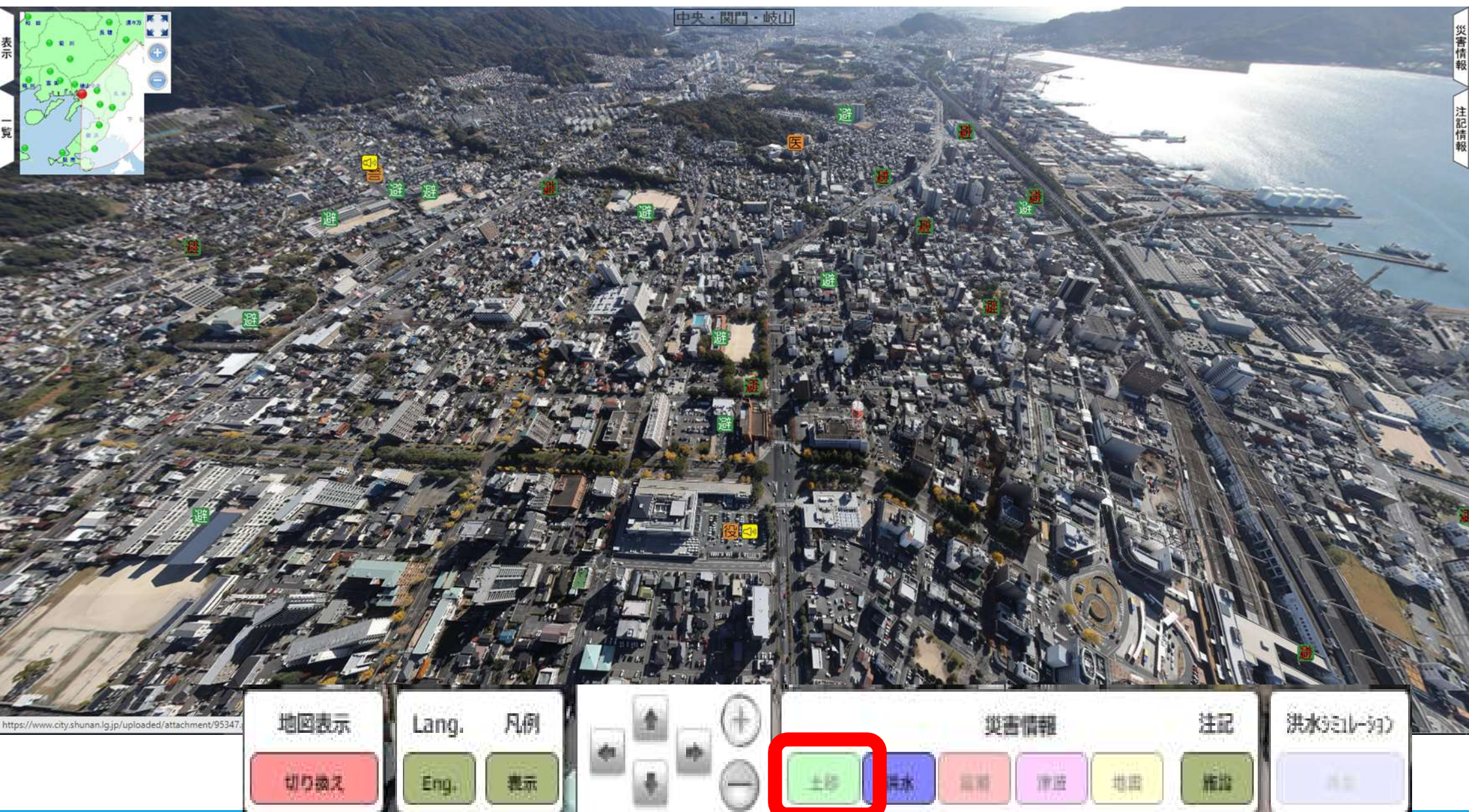
「洪水」・「土砂災害」・「地震」・「津波」・「高潮」



Web版ハザードマップ



Web版ハザードマップ



Web版ハザードマップ

中央・関門・岐山

表示
一覽

災害情報
注記情報

凡例選択

土砂 洪水 高潮 津波 地震

土砂災害

土砂災害警戒区域

- 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）
- 土石流
- 地すべり

土砂災害特別警戒区域

- 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）
- 土石流

地図表示 切り換え

Lang. Eng. 表示

凡例

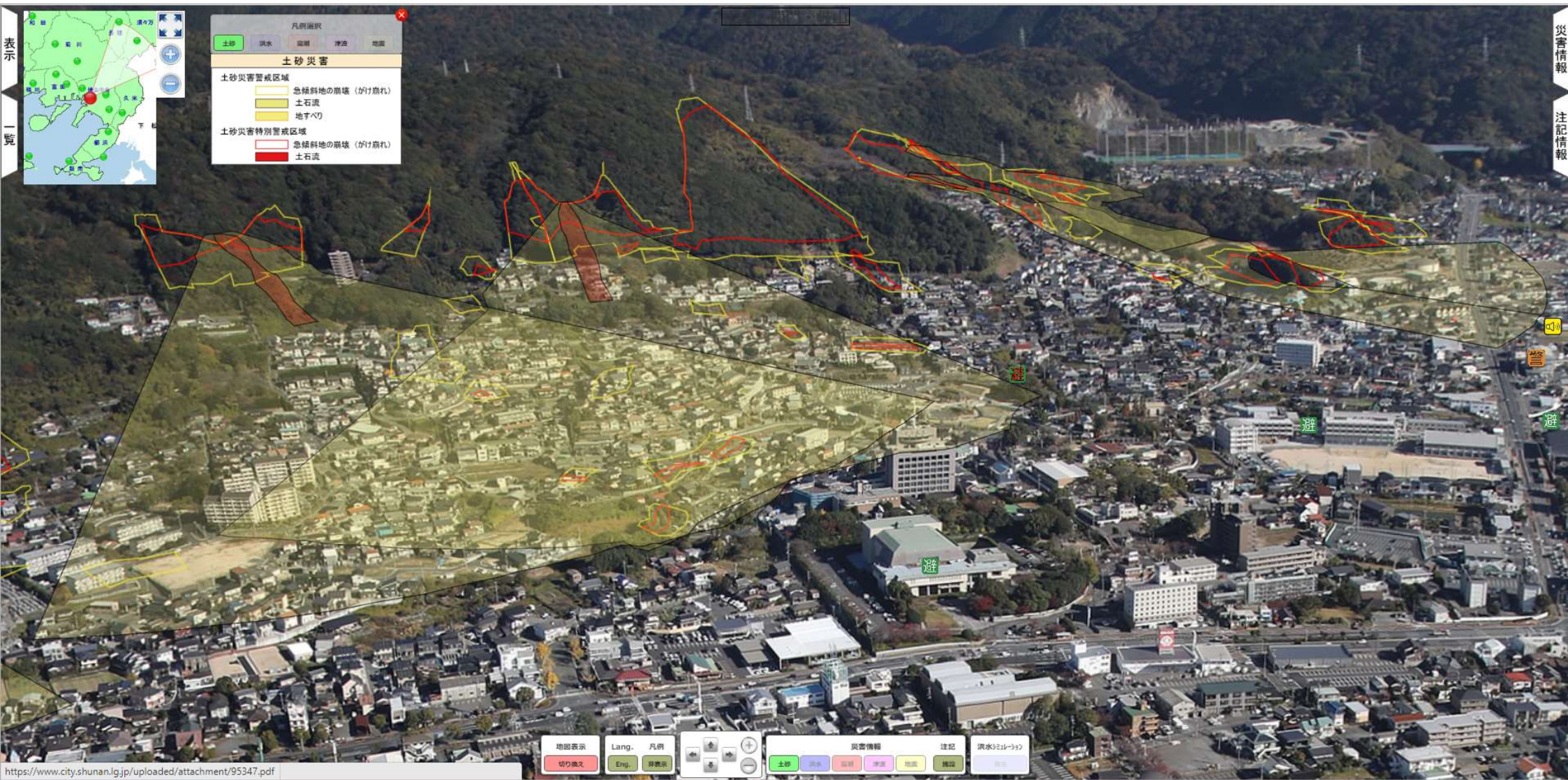
災害情報

注記

洪水シミュレーション

土砂 洪水 高潮 津波 地震 施設 再生

Web版ハザードマップ



Web版ハザードマップ

表示 一覧

南西 中央・関門・岐山 西

災害情報 注記情報

凡例選択

土砂 洪水 高潮 津波 地震

凡例

津波の浸水想定区域(浸水深)

3～4m 未満
2～3m 未満
1～2m 未満
0.3～1m 未満
0.3m 未満

海抜 海抜10m

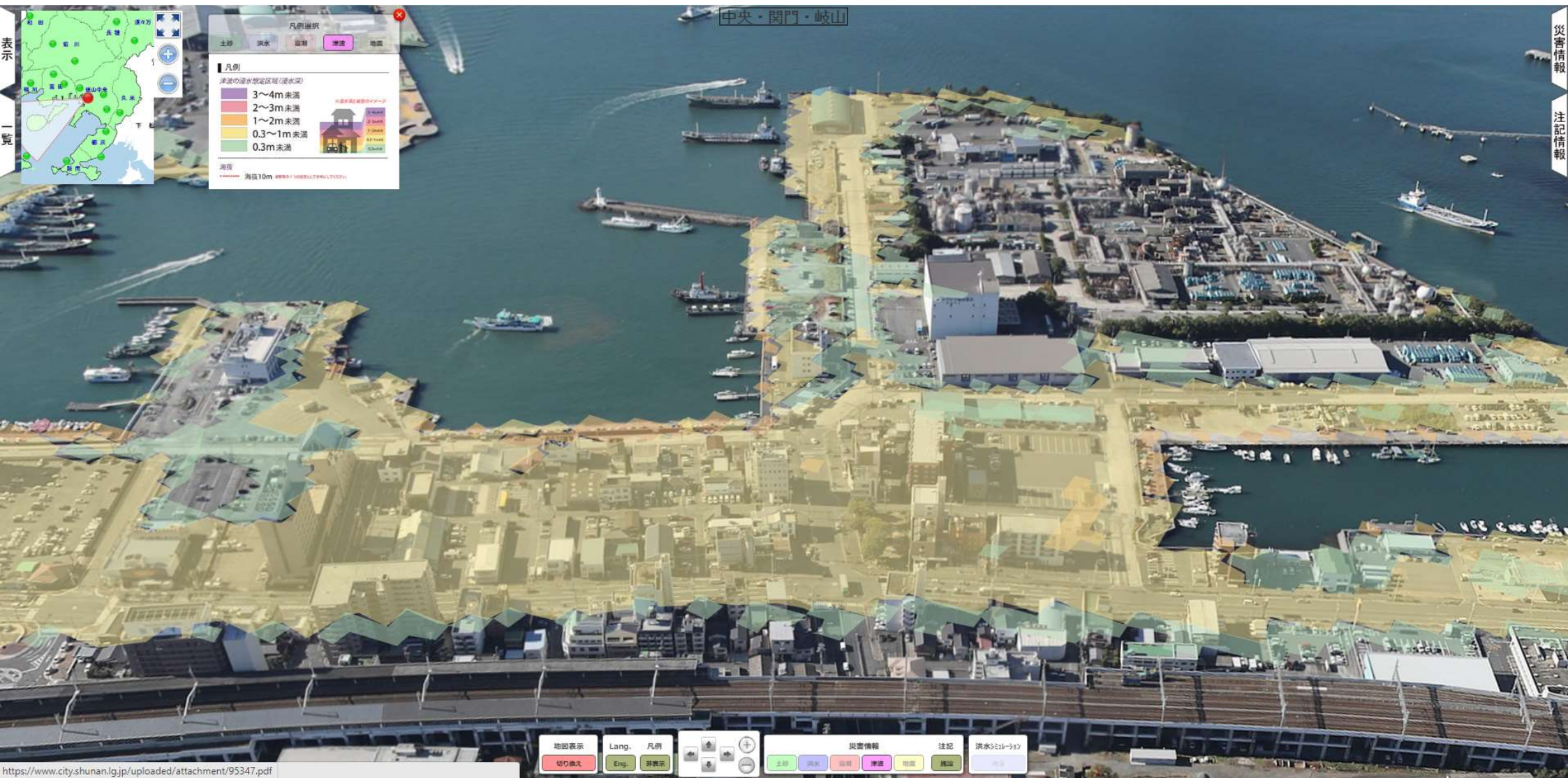
地図表示 Lang. 凡例 切り換え Eng. 表示

災害情報 注記 洪水シミュレーション

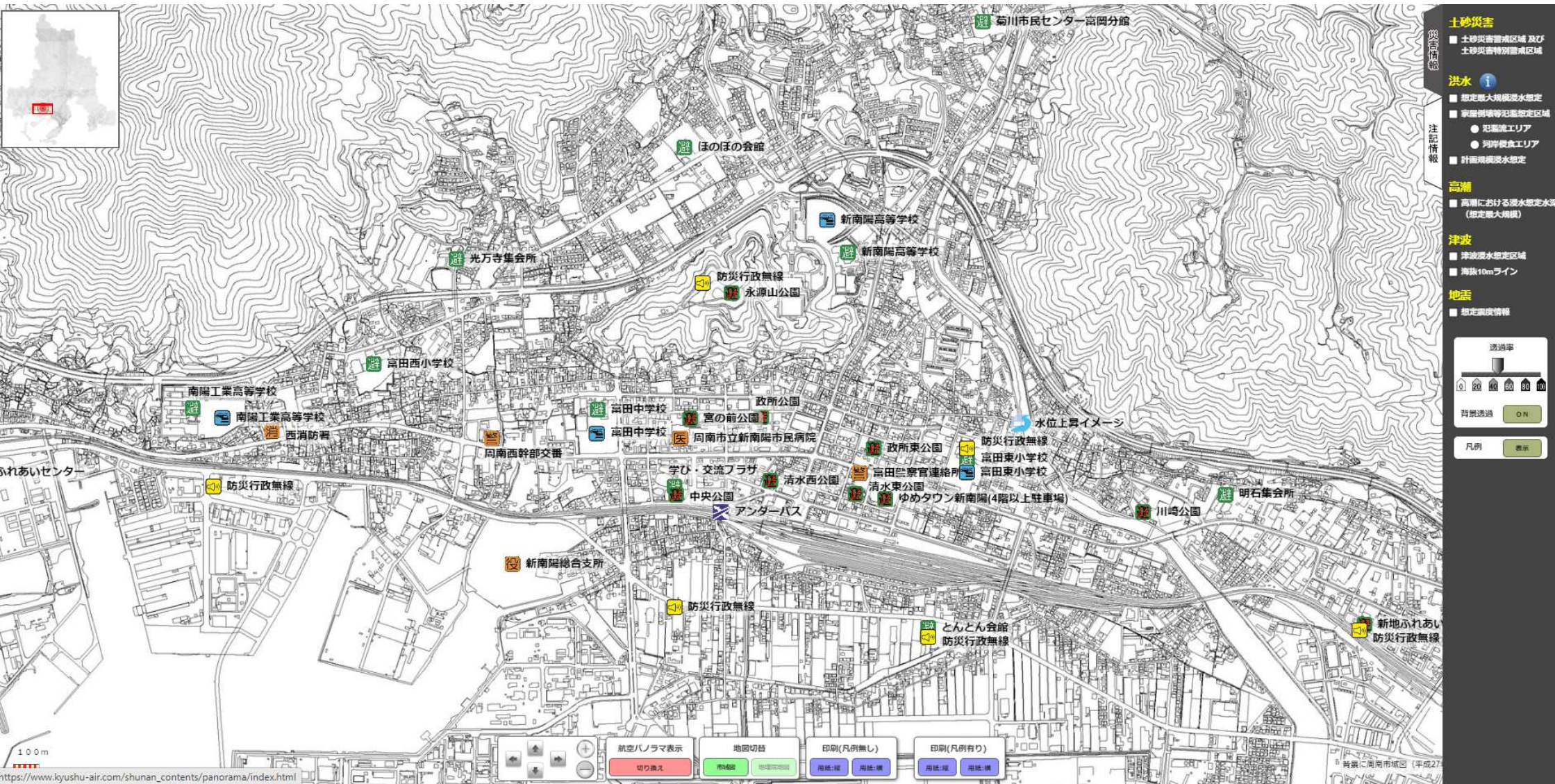
土砂 洪水 高潮 津波 地震 施設 再生

<https://www.city.shunan.lg.jp/uploaded/attachment/953>

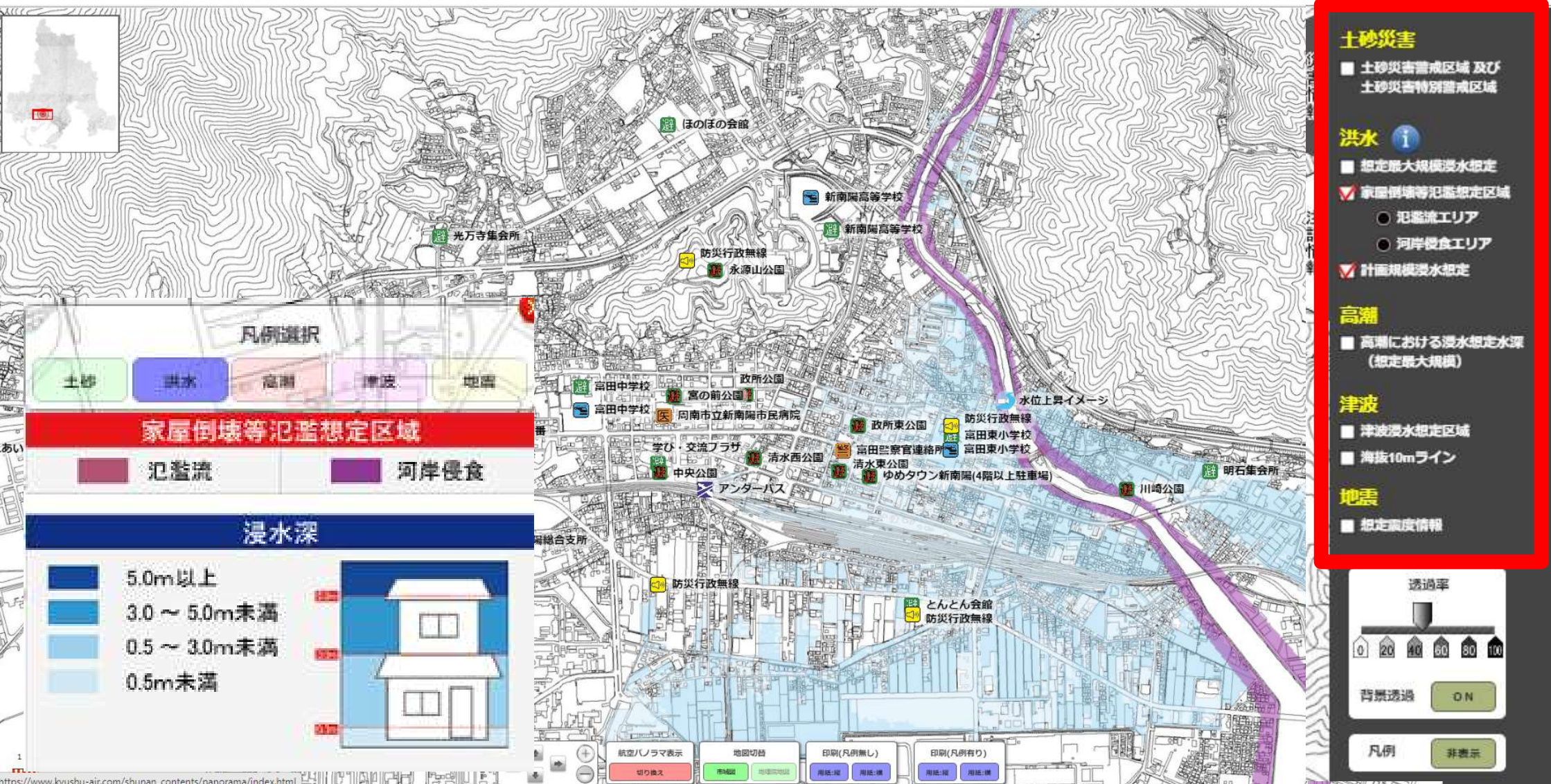
Web版ハザードマップ



Web版ノハザードマップ



Web版ハザードマップ



Web版ハザードマップ

ハザードマップ入手・確認方法



直接受け取る

ハザードマップは、
周南市役所本庁舎4階 防災危機管理課 または
各総合支所 地域政策課・各支所で受け取ることが
できます。

お問い合わせ ☎0834-22-8208



パソコン・スマホ・ タブレットで確認する

ハザードマップは、インターネットでも簡単に
確認・ご利用いただけます。

「Web版ハザードマップ」

航空写真をパノラマ化した画像に、各災害にお
ける危険箇所等の災害関連情報を簡単に見る
ことができます。

ハザードマップ
スマホ・タブレット
の方はこちら



「PDF版ハザードマップ」

周南市ホームページにて、PDF版のハザ
ードマップを公開しています。ご自宅のプリ
ンタをお持ちであれば、あらかじめ印刷を
しておいて、災害に備えておきましょう。

周南市ハザードマップ

検索

さいがいたいおう 災害対応 かぞくかいぎ 家族会議

事前に家族で話し合っておくと災害時にあわてないよ。



いざという時に一番たよになるのは家族です。しかし災害時に必ず一緒に居るとは限りません。「逃げる場所」、「連絡方法」、「役割分担」などを家族で事前に話し合い、家族での決まり事を作っておきましょう。

①「もしも？」シミュレーション

もし今、地震が起きたら…？ どうしますか？

家族の中で「もしも、〇したら〇はどうする？」というシミュレーションは、実際に災害が起きた時、具体的な行動ができる訓練となります。家族でよく話し合いましょう。

もしも、
離ればなれになったら
どこに集まる？



②家族のルールを決めよう



集合場所を決めておきましょう。

「小学校の正門のところ」など具体的に決めましょう。



連絡の取り方を話し合いましょう。

電話が繋がらない場合、LINEなどの各種SNSは連絡をとる手段として有効です。



巻末にある災害携帯カードを活用しよう。

集合場所や緊急連絡先など、必要な情報を家族で共有するために「災害携帯カード」をコピーし、記入して持っておきましょう。



災害時伝言ダイヤル「171」

NTTでは震度6弱以上の地震発生時等、被災地への安否確認電話が集中する場合にサービスを開始します。サービス開始はテレビやラジオで告知されます。171番にダイヤルするとガイダンスが流れるので、それにしたがって利用します。(事前契約不要)

災害時は一般の電話がかかりにくくなります。安否の確認などには、NTTの災害伝言ダイヤルや携帯電話各社が運用している災害用伝言板などのサービスを利用しましょう。

災害用伝言ダイヤルの使い方



被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の人には被災地にいる連絡を取りたい人の電話番号をダイヤルする。

体験利用のご案内

災害時以外にも、災害用伝言ダイヤル(171)(電話サービス)をご体験いただけるように「体験利用日」を設定しております。是非、家族・親戚・友人間で体験していただきますようお願いいたします。

【体験利用日】

- ・毎月1日及び15日 00:00~24:00
- ・正月三が日(1月1日00:00~1月3日24:00)
- ・防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- ・防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

【提供条件】

- ・伝言録音時間: 30秒
- ・伝言保存期間: 体験利用期間終了まで
- ・伝言部数: 20部

③非常時に役立つもの

家族構成を考えて必要な分を用意し、避難時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。
下記の持ち出し品の☐にチェックを入れてみましょう。

すぐ持ち出せる 非常持出品 (例)

災害が発生し避難する時、まず最初に持ち出すべきものです。

貴重品

☐現金 ☐預金通帳 ☐印鑑 ☐免許証 ☐健康保険証 ☐証書関係

☐		☐		☐	
☐		☐		☐	

衣類

☐下着・上着・靴下 ☐防寒具 ☐タオル ☐雨具 ☐軍手 ☐ポリ袋

☐めがね ☐生理用品 ☐ナイフ ☐ハンカチ ☐ティッシュ

☐携帯ラジオ ☐乾電池 ☐携帯電話(スマホ)・充電器

☐歯ブラシ・歯磨き粉 ☐マスク ☐除菌グッズ

☐		☐		☐	
☐		☐		☐	

非常食

飲料水

☐乾パン・クラッカー ☐缶詰 ☐インスタントラーメン

☐飲料水(ペットボトルタイプが便利です。) ☐紙皿・紙コップ・割り箸

☐缶切り

☐		☐		☐	
☐		☐		☐	

救急

安全

☐救急箱(常備薬、ばんそうこう、包帯など) ☐服用している薬

☐懐中電灯 ☐ヘルメット

☐		☐		☐	
☐		☐		☐	

乳幼児のいる家庭

☐ベビーフード ☐おやつ ☐ほ乳びん ☐スティックタイプの粉ミルク

☐母子手帳 ☐紙おむつ(圧縮袋に入れておくとう便利)

☐おもちゃ(音の出ないもの) ☐おしりふき・ウェットティッシュ

☐		☐		☐	
☐		☐		☐	

高齢者のいる家庭

☐必要な情報が書かれたメモ ☐服用している薬 ☐お薬手帳や処方箋

☐入れ歯・洗浄剤 ☐電動車いすや補聴器の予備バッテリー

☐		☐		☐	
☐		☐		☐	

避難生活に備える 非常備蓄品 (例)

大災害時には、組織的に救援・復興活動が行われるまで、**最低3日分(できれば7日分)**は生活できるように準備しておきましょう。

☐食品(レトルト食品・アルファ米など)

☐菓子類(チョコレート・アメなど)

☐調味料(塩・スープなど)

☐水(1人当たり1日3リットル)

☐鍋・やかん

☐毛布・寝袋など

☐簡易トイレ

☐洗面用具(ドライシャンプー・石けんなど)

☐カセットボンベ・カセットコンロ

☐簡易食器(割り箸・紙コップ・紙皿など)

☐ラップ・アルミホイル

☐ウェットティッシュ・トイレトペーパー

☐使い捨てカイロ・マスク・新聞紙など

☐工具(ロープ・バール・スコップなど)

☐		☐		☐	
☐		☐		☐	

ローリングストック(循環備蓄)を実施しましょう!

普段から食べている食品を少し多めに購入してみてもいい? その一部を備蓄品とし、賞味期限切れにならないよう定期的に消費、補充を繰り返す「ローリング(循環)ストック(備える)」を実践しましょう。



これなら備蓄に対してのハードルも低くなるし、賞味期限を切らしてしまう失敗も減るわね!



3 避難情報と避難所

避難について

警戒レベル4 避難指示で必ず避難

警戒レベル	市からの避難情報	気象情報	避難行動等
5	 きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報	風に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
～<警戒レベル4までに必ず避難!>～			
4	 ひなんしじ 避難指示	土砂災害警戒情報 顕著な大雨に関する情報 (線状降水帯) 氾濫危険情報 高潮警報 高潮特別警報	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
3	 こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報 (警報に切り替える可能性が高い場合)	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
2	 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 氾濫注意情報	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
1	 早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (警報級の可能性)	災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。
警戒レベル5
緊急安全確保の
発令を待ってはいけません!

警戒レベル4
避難指示で
危険な場所から
全員避難しましょう。

避難の時間のかかる
高齢者や障害のある人等は、
警戒レベル3
高齢者等避難で
危険な場所から避難
しましょう。

伝える

防災情報伝達内容

地震・津波情報、気象特別警報、避難情報、国民保護情報(武力攻撃、弾道ミサイルなど)

防災行政無線

屋外拡声スピーカーから放送。



コミュニティFM防災ラジオ

「しゅうなんFM」(78.4MHz)を活用し放送。
(詳細は下記を参照ください)



しゅうなんメール

携帯電話(スマホ)に配信。
(詳細は下記を参照ください)



情報の収集



IP告知システム

市内の小・中学校の
スピーカーから放送。



テレビ

音声や
テロップで
放送。



広報車

市の広報車や
消防などの
車から放送。



市ホームページ
パソコン・スマホなどで閲覧

屋外拡声スピーカーからの放送が聞き取れなかったときは、

「防災行政無線電話応答サービス」 ☎0834-34-0007

で、放送の内容が確認できます。

しゅうなんメールサービス

しゅうなんメールサービスは、携帯電話やパソコン・スマートフォンなどのメールアドレスを登録していただいた方に、市からのお知らせや気象情報を配信するサービスです。(無料) メールアドレスがあれば、どなたでも登録できます。

メールサービスメニュー

- 災害時、緊急時のお知らせ(随時)
- メールしゅうなん(月1回定期配信)
- 気象情報
- 行方不明者、身元不明者情報(随時)
- 地震:震度3以上(県中部)観測時
- クマ目撃情報(随時)
- 津波:瀬戸内海沿岸で津波の発生が予測
- イベント情報等(随時)
- 警報:気象庁発表時と解除時

※【メールしゅうなん】、【災害時、緊急時のお知らせ】、【特別警報】は登録者全員に配信

登録の仕方

① shunan@expressmail.jp

にメール送信
または、下の二次元コードを
読み取ってメール送信

② 返信されたメールで
「登録完了」してください。

スマホ・
タブレットの
方はこちら



しゅうなんメール

検索

緊急情報を受けとるために

防災ラジオ

防災ラジオは、「しゅうなんFM」(78.4MHz)を利用して
大雨や地震などの災害情報や避難情報などの緊急放送を自
動的に受信できるラジオです。

- 電源OFFでも自動で起動
- 災害時は大音量でお知らせ

※本庁(防災危機管理課)・各総合支所(地域政策課)
各支所窓口で購入できます。



費用/1台2,000円

避難所の再確認をしましょう

市の指定避難所は、既存の施設を活用しているため、必ずしも全ての施設が、全ての災害から身を守るのに適した場所とは限りません。どのような災害が発生したときにどこに避難をするのか、もう一度確認をしておきましょう。



避難所一覧

緊急避難場所 災害が差し迫った状況や災害発生時に、緊急的に避難し、身の安全を確保することができる場所

避難所 災害発生時、被災者が一定期間滞在することができる施設など

避難所(中央・関門地区)

地区	緊急避難場所・避難所	所在地	避難所	災害種別適否					
				地震	津波	高潮	洪水	土砂	大火事
中央・関門	徳山小学校	毛利町1丁目1	○	●	●	●	●	●	●
	岐陽中学校	徳山4915	○	●	●	●	●	●	●
	徳山保健センター	児玉町1丁目1	○	●	●	●	●	●	×
	中央地区市民センター	飯盛町1丁目13	○	●	●	●	●	●	×
	児玉公園	桜馬場通1丁目3	緊	●	●	-	-	-	●
	東川緑地公園	桜馬場通2丁目外	緊	●	×	-	-	-	●
	青空公園	飯盛町2丁目29	緊	●	●	-	-	-	●
	代々木公園	代々木通2丁目24	緊	●	●	-	-	-	●
	晴海公園	築港町113	緊	●	×	-	-	-	●
	徳山駅南北自由通路 南口エスカレータ棟(2階)を含む	徳山字	緊	●	●	●	●	●	×

避難所(中央・関門地区)

地区	緊急避難場所・避難所	所在地	避難所	災害種別適否					
				地震	津波	高潮	洪水	土砂	大火事
中央・関門	徳山小学校	毛利町1丁目1	○	●	●	●	●	●	●
	岐陽中学校	徳山4915	○	●	●	●	●	●	●
	徳山保健センター	児玉町1丁目1	○	●	●	●	●	●	×
	中央地区市民センター	飯盛町1丁目13	○	●	●	●	●	●	×
	児玉公園	桜馬場通1丁目3	緊	●	●	-	-	-	●
	東川緑地公園	桜馬場通2丁目外	緊	●	×	-	-	-	●
	青空公園	飯盛町2丁目29	緊	●	●	-	-	-	●
	代々木公園	代々木通2丁目24	緊	●	●	-	-	-	●
	晴海公園	築港町113	緊	●	×	-	-	-	●
	徳山駅南北自由通路 南口エスカレータ棟(2階)を含む	徳山字	緊	●	●	●	●	●	×

避難について

▶避難する場所・施設

- ①市指定避難所（主に市民センター）
- ②在宅避難・・・自宅が安全な場所が無事な場合
- ③縁故避難・・・安全な地域に住んでいる親戚や知人宅
- ④車中泊、テント泊・・・安全な場所に停車（テント設営）
※エンジンは止める。エコノミークラス症候群に注意

地震・津波版

マイ・
タイムライン
とは!

マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風や地震、津波等の災害時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動

のための一助とするものです。その検討過程では、市が作成・公表したハザードマップを用いて、自らの様々なリスクを知り、どのような避難行動が必要か、また、どのようなタイミングで避難することが良いのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考えるものです。

大雨・台風版

時系列	気象情報・避難情報	私（家族）の行動
平常時		☐ 食料の備蓄（3日～1週間分） ☐ 非常持出品の準備（P18～19参照） ☐ 家具の転倒や落下防止対策 ☐ 自宅の耐震性確認・必要に応じた耐震改修の実施 ☐ ハザードマップの確認（地震・津波ハザードマップ） ☐ 自宅が津波浸水想定区域内（浸水深： m） ☐ 津波浸水想定区域外 ☐ 家庭内で災害時の連絡方法や避難先、避難経路等を話し合う <u>避難先</u> ☐ ショールーム防災・インターネット・テレビ等で災害についての情報収集 ☐ 災害時の情報収集方法について確認・準備（P22～23参照） ☐ 家族と連絡が取れない場合の連絡手段を確認 災害用伝言ダイヤル（171）・SNS ☐ 地域の防災訓練などに参加 ☐ _____ ☐ _____
地震発生 ～5分	緊急地震速報 各種地震 津波情報 市からの避難情報 （避難指示等）	☐ 大きな揺れに備え、「姿勢を低く、頭を守り、動かない」（Drop,Cover,Hold on） ☐ 丈夫な机の下などに避難 ☐ 家具の転倒や落下物に注意 ☐ ゆれが収まってから落ち着いて行動 ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ （屋外の場合）ブロック塀などの転倒や落下物に注意 ☐ 落ち着いて周囲の状況を確認 ☐ 火の始末 ☐ 家族の安全を確認 ☐ ガラスなどの飛散に注意 ☐ ドアなどを開けて逃げ道を確保 ☐ 津波の恐れがあるか情報確認 ☐ _____
～30分		☐ 津波情報・避難情報を確認し、避難の必要があるか判断 ☐ 非常持出品を確認 ☐ 余震に注意 ☐ あらかじめ決めた避難場所に避難する ☐ 避難するときは、ブレーカーを切り、ガスの元栓を開める ☐ 避難の際は、ブロック塀などの倒れそうなものには近づかない ☐ _____
～6時間	津波による海面変動 （地震発生から約45分） 最高津波水位到達 （地震発生から約2時間） 避難情報・津波情報 （解除）	☐ 津波情報や避難指示等が解除されるまでは海岸に近づかない ☐ 自宅の状況が安全であれば、自宅に戻る ☐ _____ ☐ _____
～3日間		☐ 家族等の安否確認 ☐ 自宅で生活ができない場合は避難所等で生活 ☐ 避難所ではお互いに協力し、ルールを守る ☐ _____

時系列	警戒レベル	気象情報・避難情報	私（家族）の行動
日頃からの備え	平常時		☐ 食料の備蓄（3日～1週間分） ☐ 非常持出品の準備（P18～19参照） ☐ ハザードマップで自宅の状況を確認（土砂災害・洪水・高潮） 土砂災害特別警戒区域内 / 警戒区域内 / 区域外 洪水浸水想定区域内（ m） / 区域外 高潮浸水想定区域内（ m） / 区域外 ☐ 家庭内で災害時の連絡方法や避難先、避難経路等を話し合う <u>避難先</u> ☐ ショールーム防災・インターネット・テレビ等で災害についての情報収集 ☐ 災害時の情報収集方法について確認・準備（P22～23参照） ☐ 家族と連絡が取れない場合の連絡手段を確認 災害用伝言ダイヤル（171）・SNS ☐ 地域の防災訓練などに参加 ☐ _____
大雨・台風の 1～3日前	レベル1		☐ テレビやインターネット、携帯電話で天気予報をこまめに確認 ☐ 避難場所や経路等を確認 ☐ 非常持出品を確認 ☐ 家族の今後の予定を確認 ☐ 台風対策（風で飛びそうなものをしまう等） ☐ _____
次第に風雨強まる 台風接近	レベル2	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 氾濫注意報	☐ 避難の準備（避難場所・経路の確認、非常持出品の準備） ☐ 携帯電話を充電 ☐ テレビやインターネット、携帯電話で天気予報をこまめに確認 ☐ 市からの情報（避難所の開設情報・避難情報）を確認 ☐ 避難情報発令前でも、必要があれば自主避難 ☐ _____
	レベル3	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報 （警報に切り替える 可能性が高い場合） 高齢者等避難	☐ テレビやインターネット、携帯電話で気象情報をこまめに確認 ☐ 市からの情報（避難所の開設情報・避難情報）を確認 ☐ 避難の準備（避難場所・経路の確認、非常持出品の準備） ☐ 避難情報発令前でも、必要があれば自主避難 ☐ 高齢者等避難が発令されたら避難 ☐ _____
河川水位上昇 風雨強い	レベル4	土砂災害警戒情報 顕著な大雨に関する情報 （線状降水帯） 氾濫危険情報 高潮警報・高潮特別警報 避難指示	☐ テレビやインターネット、携帯電話で気象情報をこまめに確認 ☐ 避難所の開設情報を確認 ☐ 避難情報発令前でも、必要があれば自主避難 ☐ 避難指示が発令されたら避難 ☐ _____
災害発生	レベル5	大雨特別警報 氾濫発生情報 避難確保計画	☐ 災害が発生、又は切迫している状況。避難が難しい場合は自宅の2階以上で垂直避難する等、命を守る行動をとる ☐ _____

補足：避難行動要支援者

個別避難計画



● 避難行動要支援者



① 要介護認定・障害認定等を受けており、自力での避難が困難である

区 分	範 囲
<u>要介護認定者</u>	要介護3・4・5の認定を受けている方
<u>障害者</u>	身体障害者手帳1・2級を所持しており第1種の方 (心臓・腎臓機能障害のみで該当する方を除く) <u>療育手帳Aを所持している方</u> <u>精神障害者保健福祉手帳1級を所持している方</u>
<u>難病患者</u>	<u>難病医療助成制度の対象疾病の認定を受けている方</u>

② 世帯内に避難支援ができる同居家族等がない

※障害(身体・知的・精神)のない75歳未満の同居者は、

避難支援が可能な同居家族とみなしています。

※高齢者施設に入所中や病院に入院などしており、自宅に戻る

見通しがない場合は、避難行動支援の対象外です。

■ 計画様式

表

様式第3号

取扱注意

避難行動要支援者個別避難計画

作成日 年 月 日
更新日 年 月 日
更新日 年 月 日

【1】避難前の状況確認

①住所	南砺市〇〇町〇番〇号		
②自主防災組織名	〇〇地区自主防災組織	③自治会名	〇〇自治会
ふりがな	しょうなん たろう	④性別	男・女 〇〇年 〇月 〇日
⑤氏名	南野 太郎	⑥生年月日	〒〇〇-〇〇-〇〇 〇〇年 〇月 〇日
⑦家族構成	☒ 単身 ☐ 同居家族あり ⑧備考 妻は〇〇歳入所中		
⑨本人連絡先	0834-22-〇〇〇〇 優先順位 1		
⑩緊急連絡先	氏名 南野 小太郎 性別 男性 連絡先 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇 優先順位 3 (家族等) 氏名 山下 五郎 性別 男性 連絡先 0834-〇〇-〇〇〇〇 優先順位 2		

【2】災害リスク等の確認

⑪住まい状況	☒ 戸建住宅(平屋 2階建て 木造) ☐ 集合住宅(階建ての 階 3階) 間取り及び生活行動・動線 週4回(月、火、水、土、日)訪問介護 週3回(月、水、金)テイクサービスを利用。9:30~15:30 寝る時以外はLDKで過ごすことが多い。		
⑫災害想定	☐ 土砂災害特別警戒区域 ☒ 土砂災害警戒区域 ☐ 津波浸水想定区域(浸水深 m未満) ☐ 高浸水想定区域(浸水深 m未満) ☒ 洪水浸水想定区域(計画規模浸水深 0.3 m未満) (想定最大規模浸水深 3 m未満) ☐ その他 河川浸食に該当 ☒ 過去の災害 平成〇〇年頃に下水管が壊れ、		
⑬地域の方(避難支援者)	氏名 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 住所 南砺市〇〇町〇番〇号 南砺市〇〇町〇番〇号 南砺市〇〇町〇番 101 電話 0834-〇〇-〇〇〇〇 080-〇〇〇〇-〇〇〇〇 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
⑭民生・児童委員等	⑮ケアマネジャー又は福祉支援専門員	⑯通常利用している施設	⑰かかりつけ医療機関
地区 〇〇	事業所名 〇〇介護支援事業所	施設名 〇〇訪問介護事業所	病院名 〇〇病院
氏名 〇〇 〇〇	氏名 〇〇 〇〇	担当者 〇〇 〇〇	主治医 〇〇 〇〇
電話 0834-〇〇-〇〇〇〇	電話 0834-〇〇-〇〇〇〇	電話 0834-〇〇-〇〇〇〇	電話 0834-〇〇-〇〇〇〇
地区 〇〇	事業所名 〇〇訪問看護ステーション	施設名 〇〇整形外科	〇〇整形外科
氏名 〇〇 〇〇	氏名 〇〇 〇〇	担当者 〇〇 〇〇	主治医 〇〇 〇〇
電話 〇〇〇〇-〇〇〇〇	電話 0834-〇〇-〇〇〇〇	電話 0834-〇〇-〇〇〇〇	電話 0834-〇〇-〇〇〇〇

※避難支援者はあくまでもボランティア精神に基づき支援するものであり、法的な責任や義務を負うものではありません。

裏

【3】心身状態等

①主たる疾患名	膝が人、認知症関連疾患、右半身麻痺		
②特別な医療	☒ 点滴の管理 ☐ 中心静脈栄養 ☒ じょうそうの処置 ☐ 経管栄養 ☐ ストーマ・カテーテルの管理 ☐ 疼痛の管理 ☐ 透析 ☐ 気管切開の処置 ☐ その他		
③電通使用の医療機器関係	☐ レスビレーター(人工呼吸器) ☐ 吸引器 ☒ 酸素療法(器械連動先 〇〇〇〇株式会社 0834-〇〇-〇〇〇〇) ☐ 自家発電が可能 ☒ バッテリーの備蓄 ☐ その他		
④内服・衛生用品	☒ 欠かせない医薬品や衛生用品がある 〇〇〇〇		
⑤心身の状態	☐ 座ることができない ☒ 立つことや歩行ができない ☐ 物が見えない(見えにくい) ☐ 音が聞こえない(聞き取りにくい) ☐ 言葉や文字の理解が難しい ☐ 危険なことが判断できない ☒ 排せつが自分でできない ☐ 顔を覚えて家族や知人がわからない ☒ その他 特別な事項(アレルギー等)		
⑥避難の方法	☐ 自力で(徒歩・車) ☐ ストレッチャー・担架を使用 ☐ 手引き誘導(徒歩・車) ☒ 車いす介助(所有:〇・無) ☐ その他		

【4】行動計画

①移動可能な手段	☒ 自車 ☐ 市の指定避難所 ☒ 福祉避難所 ☐ 福祉施設 ☐ 病院 ☒ その他(親戚・知人家など)		
②住まいの避難先	日中	避難先: 第1候補	義理兄宅
		避難先: 第2候補	自宅
		避難先: 第3候補	
	夜間	避難先: 第1候補	義理兄宅
		避難先: 第2候補	自宅
		避難先: 第3候補	
③地域の方に協力してほしいこと	義理兄が支援をしてくれている		
④避難先での必要な物資等	高齢者等避難以上が発令されたタイミングで次に義理兄へ連絡し、助ける避難支援者と 移送の際、車椅子がある事が必要。 自宅の西側に川があるため、川沿いの道は		

記入箇所の役割分担

- ブルー・・・市役所が記入
- ピンク・・・福祉事業所が記入
- グリーン・・・自主防災組織が記入
- イエロー・・・自主防災組織が福祉事業所等の助言を踏まえ記入

【5】同意確認

令和〇年 〇月 〇日			
上記の記載内容について確認の上、災害時の民生委員・児童委員、避難支援協力者、介護・			
本人署名	〇〇〇〇		
※代筆の場合	氏名	住所	
	本人との関係	連絡先	

支援体制

(1) 市

【防災部門】 防災危機管理課

【福祉部門】 地域福祉課・高齢者支援課・障害者支援課

(2) 自主防災組織

(3) 地区住民（避難支援者）

(4) 関係機関

福祉専門職

民生委員児童委員協議会

社会福祉協議会

参考資料



<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/9/41554.html>



<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/9/60718.html>



監修

名古屋大学名誉教授
あいち・なごや強靱化共創センター長
福和伸夫 教授

内閣府
Cabinet Office

政策統括官（防災担当）付
参事官（調査・企画総務）

〒100-8914
東京都千代田区永田町1-6-1
中央合同庁舎8号館3F
TEL: 03-5253-2111 (大代表)
<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/rinj/index.html>



気象庁
Japan Meteorological Agency

地震火山部地震火山技術・調査課

〒105-8431
東京都港区虎ノ門3-6-9
TEL: 03-6758-3900 (代表)
FAX: 03-3584-8643 (代表)
<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nteq/index.html>



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

国民保護・防災部隊対策

〒100-8927
東京都千代田区霞が関2-1-2
中央合同庁舎2号館
TEL: 03-5253-5111 (代表)
<https://www.fdma.go.jp/>



<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/leaflet.html>

ご静聴ありがとうございました